



地下水位予測システムイメージ図

住友林業とIHI共同の森林管理コンサルティング事業に参画

明星電気は、住友林業株式会社と株式会社IHIが締結した「森林管理コンサルティング事業」と「自然資本の価値を最大化する持続可能なビジネスの開発」に関する共同事業において、気象情報や泥炭地の地下水位情報を地上で計測できる泥炭地情報観測機器を開発および提供する役割をもって参画します。

当社は当該共同事業への参画を通じ、インドネシアをはじめとする熱帯泥炭地※を有する国々に当社の技術を普及させることにより、持続可能なカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

※熱帯泥炭地とは...植物の遺骸が水中で分解されずに堆積してきた土壌。

【住友林業×IHIプレスリリース】

https://www.ihico.jp/ihico/all_news/2021/aeroengine_space_defense/1197434_3351.html

(担当: 気象防災事業部)



ミッションロゴマーク



谷本取締役兼執行役員
宇宙防衛事業部長

革新的衛星技術実証プログラム 2号機プロジェクトWebページにインタビュー記事掲載

革新的衛星技術実証プログラム 2号機プロジェクトにおいて、当社の谷本取締役兼執行役員 宇宙防衛事業部長が宇宙航空研究開発機構(JAXA)からインタビューを受け、その内容がJAXAのホームページに掲載されました。

革新的衛星技術実証2号機は、「小型実証衛星2号機(RAISE-2)」と超小型衛星、CubeSatの計9機の衛星で構成されています。当社はベトナム国家宇宙センターとの共同研究のもと、民生部品を活用した安価で高性能なオンボードコンピュータ(OBC)を開発し、3UサイズのCubeSat「NanoDragon」に搭載して軌道実証を行います。

明星電気は、この軌道実証を成功させ、海外市場を含むOBCの販売拡大をめざします。

https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/interview/02/interview02_15.html

(担当: 宇宙防衛事業部)



日本ドローン年鑑2021表紙

日本ドローン年鑑2021に掲載

一般財団法人先進ロボティクス財団が著作編集し、日刊工業新聞社が出版した「日本ドローン年鑑2021」に当社が掲載されました。

この本は、日本のドローン産業を俯瞰できるデータベースとして刊行され、当社はドローン産業および周辺技術を担う企業126社の1社として掲載されています。この中で、周辺技術として超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAが、設置の容易性やカメラを拡張した時の設置場所の環境把握のしやすさ、POTEKA NETによる観測データの閲覧やWeb-APIによるシステム間連携など、ドローン離発着エリアの状況判断に有効であるとして紹介されました。

明星電気のPOTEKAが、ドローン離発着時の安全・安心に貢献します。

<https://pub.nikkan.co.jp/books/detail/00003586>

(担当: 気象防災事業部、総務人事部)

【文中: 敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。